

1. 平成19年度 事業計画書

平成19年度においては、化学フロンティア事業部門では、20周年特別シンポジウム（仮称）を開催するとともに、コラボレーション・メンバーの拡充等により新化学に係る技術開発関連調査研究の充実・強化を図るなど、産学官連携及び異業種交流の一層の推進に努める。また、化学フォーラムを引き続き開催するとともに、関係団体と協力して、キャンペーン事業（夢・化学—21）やGSC（グリーン・サステイナブルケミストリー）活動等の推進を図る。

ソーダ関連事業部門では、ソーダ工業に関する調査研究等の事業及び普及啓発活動の推進に必要な協力を行う。

なお、事業の実施にあたっては、事業の効率化に努めるとともに、事業効果を極力発揮するよう配慮するものとする。

以上のほか、平成19年度においては、公益法人制度改革（平成18年6月 関係3法公布）について、政令・府令の制定等今後の動向を注視しつつ、必要な対応策の検討を行う。

I 化学フロンティア事業

1. 20周年特別シンポジウム（仮称）の開催

当協会が設立20周年を迎えたことを機に、これまで隔年で開催している「新化学国際シンポジウム」に代えて、20周年特別シンポジウム（仮称）を開催する。

2. 関連産業との技術開発連携課題調査研究（日本自転車振興会補助事業）の推進

新化学と機械工業等の関連産業との間の技術開発連携課題に関する調査研究を、新たなテーマ（「ナノバイオ分野におけるセンシングデバイス」及び「複合化技術による新規素材創生のための高効率プロセス構築」）について実施する。

3. 技術開発関連調査研究の推進

コラボレーション・メンバーの拡充、新規WGの立ち上げ等を図り、各技術部会における技術開発課題の検討及び必要な調査研究（OCTAの活用研究等各WG及びWSへの会員外メンバーの参加促進を含む）を積極的に推進する。

4. 研究奨励金の賦与

新化学の発展に寄与する若手研究者に対し、研究奨励金の賦与を行う。

5. 化学フォーラムの開催

トップフォーラム及び研究主幹者フォーラムを引き続き開催するとともに、必要に応じて特別フォーラムを開催する。

6. 普及啓発の推進

ホームページを通じ、当協会の事業活動についての広報活動を積極的に推進するとともに、シンポジウム、講演会等への会員外参加の促進に努める。

また、関係団体と協力して、化学及び化学工業に対する国民各層の一層の理解を深めるためのキャンペーン事業（夢・化学—21）、持続可能な社会実現のためのGSC（グリーン・サステイナブルケミストリー）活動等の推進を図る。

II ソーダ関連事業

1. 調査研究等事業の推進

アジア地域での環境・安全対策推進のための調査及びガス拡散電極食塩電解技術の実用化に必要な協力を行う。

2. 普及啓発活動の推進

ソーダ工業の安全対策の推進及び技術・安全情報交換の推進に必要な協力を行う。

3. 債務保証事業の実施

必要に応じ、製法転換に要する資金の借りに係る債務の保証を行う。

III その他

当協会設立20周年を記念するための事業の一環として、20年誌を刊行する。